

サルから人類進化へ

地下2階の左手奥の方にある骨格標本を見に行こう！



地球 館 B2 階

音声ガイド
630付近

霊長類の進化 ヒトと類人猿の仲間たち



1 類人猿の犬歯はどのように変化しているか



中央の前歯から3番目の歯が犬歯、いわゆるキバです。特に大きさを比較してみましょう。

シロテナガザル
他の歯の3倍くらいの大きさで細く鋭くとがっている。上下がかみ合うよう前歯との間に隙間がある。

オランウータン
他の歯の5倍くらいの大きさで鋭くとがっている。前歯との隙間がある。

ゴリラ
他の歯の10倍くらいの大きさで根元が太く丈夫そう。それ以外はヒトと似ている。前歯との隙間は小さい。

チンパンジー
他の歯の2倍くらいの大きさでヒトと似ている。前歯との隙間がある。

ヒト
他の歯と同じくらいの大きさで鋭くない。前歯との隙間はない。

武器としてはオランウータンの歯が一番強力そうだが、鋭さでは体の小さいシロテナガザルの歯が一番で、ゴリラの歯は強い力で硬いものも噛み砕くのに一番有効そうに見える



類人猿の犬歯はオスでよく発達し、威嚇（いかく）や戦いで使われています。

地球 館 B2 階

31

猿人の進化



2 ヒトが直立二足歩行をはじめた理由は何か



チンパンジーとヒトの骨盤が展示されています。簡単にスケッチしましょう。

ヒト

内蔵を支えるため上下に短く幅広い



チンパンジー



ヒトが直立二足歩行をはじめた理由については、さまざまな説があります。あなたはどの説が納得できますか？

高いところから敵を発見、敵を威嚇、両手の自由度、水中での動き、体温調節



「二足歩行の起源とルーシーの歩き方」の動画を見てみよう

発掘調査で見つかる骨盤の解析では、「骨盤の横への広がり具合」から、ヒトに近縁かどうかを分析しているのだそうです。





3

猿人・原人・旧人の復元模型をみよう

それぞれの古代人がこの場所に連れてこられたらどんな表情をするかという想像を加えて復元されているそうです。



猿人・原人・旧人が展示されています。研究者がつけたニックネームとあなたがそれぞれの古代人を見た印象を書きましょう。

	猿人	原人	旧人
ニックネーム	ルーシー	トゥルカナボーイ	ラ・フェラシー
印象	身長1mくらいと小柄で、体に比べ手が長い おでこが狭く脳は小さい 眉毛の部分が盛り上がっている	ほっそりとして身長は1.7mくらいと高い 体形はほぼ現代人と一緒 ただし、まだおでこは狭く骨盤もやや立っている	がっしりとした体つきで現代人とほぼ同じ おでこは広く、脳が発達していそう 服装から環境への適応能力がありそう



展示の横にある端末で「復元（猿人・原人・旧人）の具体例」を見てみましょう。見ると展示が100倍面白くなりますよ！



世界各地に生息域をもつ生物は人類だけです。人類が進化してきた要因は何でしょうか？ 同じフロアの他の展示も参考にして考えよう。



感じたこと

わかったこと

考えたこと

- ・環境(温度、湿度など)への適応
- ・二足歩行による手の自由度拡大と知能の発達
- ・道具の使用
- ・食べ物(栄養価の高いもの)への適応
- ・コミュニケーションによる集団生活、集団活動



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

学習指導要領「生命の連続性」では、「生物の種類の多様性と進化」で現存の生物および化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けて理解します。また、社会科の歴史分野でも、人類の進化について学習します。ここでは、人類がサルの仲間としてどのように進化してきたかということを通して、自分へつながるヒトの進化とその長い歴史について、考えを深めさせたいものです。

年

組

番

氏名